

■目標

- 1 コンピュータ等にはいろいろなソフトウェアがあることを知り、コンピュータ等のソフトウェアを操作することを目指します。
- 2 情報の取扱いにおけるルールやマナーについて理解することを目指します。
- 3 コンピュータやデジタルカメラなど日常生活や卒業後の生活で利用する情報機器の正しい扱い方を知り、操作することを目指します。
- 4 コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信の方法を理解することを目指します。

■学習内容

<情報の取り扱い>	インターネットでのトラブルに巻き込まれることがあることや個人情報管理の重要性について学びます。 インターネットには不適切な情報が含まれていることを知ります。 【具体的な内容】 情報モラル
<情報やコンピュータ等の情報機器の役割>	実際の公共機関や商店などでコンピュータ等の情報機器や通信機器が活用されていることを知ります。 【具体的な内容】 総合演習
<情報機器の操作>	コンピュータ等の情報機器には起動から終了までの操作に所定の手順があることなどが分かり、これを実際に行うことができるようにします。 【具体的な内容】 コンピュータの基本操作、デジタルカメラの操作
<ソフトウェアの操作と活用>	文書、表計算、プレゼンテーションなどのアプリケーションソフトウェアに関心を持ち、実際に活用します。 【具体的な内容】 文書を入力する、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、動画編集
<通信>	情報通信ネットワークで検索し、必要な情報を取り出して、行事や生活に役立てます。 【具体的な内容】 インターネットでの検索、ネットワークの仕組み

■使用教科書

見てわかる情報モラル第3版

■評価の方法

出席状況 準備片付け 授業態度 質疑応答 ノートテイク テスト 課題提出 技能 (他)

■生徒へのメッセージ

自分の生活や卒業後の仕事に生かせる学習です。社会の実情に対応できるように情報モラルについても学びます。
 始業前に着席し、パソコンを起動させておきます。授業態度（集中して課題に取り組む姿勢、話を聞く態度）、課題提出（文書や表計算やプレゼンテーションソフトの課題）、パソコン操作の技能を高く評価します。
 （担当 小 林 和 幸）